

## 話の素材(学習資料)

8歳の息子は、発達障害(ADHD)があり、多動的傾向があります。先日、登校中に同じ班の友だちにちょっかいを出して、口喧嘩になり、相手を叩いて鼻血を出したことがありました。親としてどうしたらよいでしょうか？



女性 33歳

私は趣味で、休日によく車イスバスケットをします。最近、試合である公共施設の体育館に行くのですが、よく障がい者用の駐車場に車が置いてあって困っています。よく見るとその車は、私の知っている近所の方の車です。その方とは普段からお付き合いがあり、今後もいいお付き合いをしようと思っているので、とても言えません。どうしたらよいでしょうか？



男性 35歳

私の長女は、小学校1年生です。学校のすぐ近くに障がい者支援施設があり、学校の帰りに、うちの娘がたまたま、施設に入所されている知的障がいのある方とお話をしていたそうです。話をしても、なかなか話の内容がかみ合わないの、娘が思わず「大人のくせにこんなことも知らないの？もういいわ…。」と言って喧嘩になったと娘から聞きました。親としてはどうしたものでしょう。



男性 38歳

私は進行性アルツハイマー病で、年々物忘れがひどくなってきているように思います。週3回、デイサービスを利用しています。先日、介護士さんに「おばあさんは、紙に書いてあげても、すぐ忘れてしまうので、本当に大変だわ…。」と言われました。確かに、物忘れがひどくなってきているのは事実ですが、面と向かって言われるとつらく感じます。どうしたらよいでしょうか？



女性 78歳





## 学習のポイント

障がいのある人やその家族の立場、或いは周りの人の立場に立って考えてみる大切です。**障がいのある人の人権を自分自身の問題として捉え、その解決方法を考えたり、いろいろな意見を聞くことによって、障がいのある人と共に生きるということについて考えてみましょう。**いろいろな障がいがあることに対する多様性と受容について考えたり、障がい者の尊厳・自由・保護についても考えてみましょう。



## すすめ方【70分】

**準備物** A～Dのカード、模造紙（各グループ分）

1. 4人グループになり、「私の悩み」について、みんなで相談者にアドバイスをしましょう。
  - ・4人グループで、順番にA～Dのカードを引きます。
  - ・順番に相談者になり、悩みを相談します。残りの人は、相談員となって、アドバイスをしましょう。
  - ・アドバイスを受けたことをカードにメモしておきましょう。  
（一人の相談時間を決めて、順次交代していきましょう）
2. 次に席替えをして、同じカードを引いた者同士でグループをつくり直します。それぞれのグループからもらったアドバイスのメモを紹介し合い、それらを参考に自分たちの意見を出し合い、解決方法を模造紙にまとめます。
3. A～Dのグループ毎に発表します。
  - ・ファシリテーターは、発表者の意見を肯定的に尊重するようコメントをしましょう。
4. 障がいのある人々と共に生きるという観点から、私たちがやるべきこと、大切にすべきことは何かを考え、数人に考えを聞きます。
5. 学習のふりかえりとまとめをします。



## 資料

### 資料1 カード例

<p>&lt;アドバイス&gt;</p>	<p><b>相談者</b> 女性 33歳 <b>A</b></p> <p><b>私の悩み</b></p> <p>8歳の息子は、発達障害（ADHD）があり、多動的傾向があります。先日、登校中に同じ班の友だちにちょっかいを出して、口喧嘩になり、相手を叩いて鼻血を出したことがありました。親としてどうしたらよいでしょうか？</p>
<p>&lt;アドバイス&gt;</p>	<p><b>相談者</b> 男性 35歳 <b>B</b></p> <p><b>私の悩み</b></p> <p>私は趣味で、休日にはよく車イスバスケットをします。最近、試合である公共施設の体育館に行くのですが、よく障がい者用の駐車場に車が置いてあって困っています。よく見るとその車は、私の知っている近所の方の車です。その方とは普段からお付き合いがあり、今後もいいお付き合いをしようと思っているので、とても言えません。どうしたらよいでしょうか？</p>
<p>&lt;アドバイス&gt;</p>	<p><b>相談者</b> 男性 38歳 <b>C</b></p> <p><b>私の悩み</b></p> <p>私の長女は、小学校1年生です。学校のすぐ近くに障がい者支援施設があり、学校の帰りに、うちの娘がたまたま、施設に入所されている知的障がいのある方とお話をしていたそうです。話をしても、なかなか話の内容がかみ合わないで、娘が思わず「大人のくせにこんなことも知らないの？もういいわ…。」と言って喧嘩になったと娘から聞きました。親としてはどうしたものでしょう。</p>





<p>〈アドバイス〉</p>	<p><b>相談者</b> 女性 78歳 <b>D</b></p> <p><b>私の悩み</b></p> <p>私は進行性アルツハイマー病で、年々物忘れがひどくなってきているように思います。週3回、デイサービスを利用しています。先日、介護士さんに「おばあさんは、紙に書いてあげても、すぐ忘れてしまうので、本当に大変だわ…。」と言われました。確かに、物忘れがひどくなってきているのは事実ですが、面と向かって言われるとつらく感じます。どうしたらよいのでしょうか？</p>
----------------	---

## 解決方法の例

### 〈Aのカードについて〉

- ①喧嘩をした相手の家に謝りに行く。その際に、我が子の障がいについて説明し、理解を求める。
- ②親としてまず、息子の友だちと仲良くなりたいたいという気持ちをきちんと受け止める。
- ③親は息子に対して、いくら腹が立っても暴力だけはいけないことを伝えると共に、周りの友だちに息子への理解と協力をお願いする。
- ④身近な友だちや学校、関係機関等に相談する。

### 〈Bのカードについて〉

- ①Bさんの直接言いたくても、なかなか言えない立場を理解し、その気持ちを受け止める。
- ②同じチームの仲間と一緒に行って、Bさんの気持ちを伝えるようにする。
- ③公共施設の管理人さんに伝え、対応を考えてもらうようにする。
- ④自分の思いが、直接伝えられるような人間関係を平素から築くように努める。

### 〈Cのカードについて〉

- ①相手にきちんと謝りに行き、我が子には、相手に対して大変失礼なことを言ったということをよく説明し、納得させることを伝える。
- ②親として、娘の気持ちをまずきちんと受け止める。
- ③知的障がいということが、小学1年生の娘にも分かるよう、例えば「産まれたときに頭の中にほんのちょっとした傷があって、それであなたが話していることがうまく伝わらないの。決して相手の人は、ふざけているわけではないの。」というように説明する。
- ④学校や家庭でも、人はみんな違って、障がいがあってもなくても人間としては同じであることを教える。

### 〈Dのカードについて〉

- ①Dさんの「物忘れが、年々ひどくなってきていることは分かっているが、介護士さんに面と向かって言われるのがつらい。しかもそのことが言えない。」という思いを受け止める。
- ②周りの人から、介護士さんにDさんの気持ちをうまく伝えてもらう。
- ③主任介護士さんに相談する。また、介護士の研修会で取り上げてもらうようお願いする。
- ④自分の思いが、直接伝えられるような人間関係を平素から築くように努める。